

2024年入試で勝利を引き寄せる 中学受験専門家庭教師の活用法

憧れの志望校合格、ぜひ実現させましょう

コロナ禍も収束の兆しが見え始めた中で行われた2023年の中学入試。首都圏の受験生はここ8年間増え続けており、今年は特に上位校がより難易度を増しました。また、午後入試や多様化した入試、新たに共学化した中学校の登場などにより、さらに先読みの難しい入試となりました。

今春の入試を振り返るとともに、2024年の中学入試で志望校に合格するためのアドバイス、中学受験の専門家である森上教育研究所の森上展安所長と、麻布個人指導会の高野光治氏、谷地又俊明氏に聞きました。

難易度の二極化が進んで、選考方法と対策がより重要に

森上 首都圏の1都3県だけでなく、公立小学校卒業生も増えています。公立小学校卒業生は、ほぼ昨年同様(97%)ですが、中学受験者は27%ほど増えています。

高野 目下の特徴としては、男女ともに開成や校中といった最上位校の難化が激しかった。森上 確かに神奈川も栄光学園と聖光学院が過去最多に近い受験者数で、中堅校も多かった。4年前の受験者数と同数という中学校が多かったです。谷地又 共学化は少し落ち着いた印象があります。森上 そうですね。ただし、渋谷区中、渋谷区立、麻布区立、谷地又 麻布個人指導会での受験結果には何か特徴がありましたか。

森上 麻布個人指導会での受験結果には何か特徴がありましたか。谷地又 私どもでは2回の試験日が設定されている中学校での健闘が目立ちました。男子では2月3日の海城中、4日の聖光学院中と芝中、女子では2日の吉祥女子中、3日の鳴友学園中、5日の頌栄女子学院中の合格です。1回目の結果に勝つことなく果敢に挑戦し、価値ある合格を手に入れた受験者が例年より多かったです。

結果に臆することなく挑戦 価値ある第一志望校合格!

森上 1月の千葉県と埼玉県の入試も、出題傾向は強固にしている。中堅校は勉強した成果を試せるという意図がある。高野 腕試しとも言える受験です。そして市川や栄東中、大宮開成中などお住まいの地域については、完全に進学の1つとして考えられています。その認識が強まっているため、合格した場合は1月入試で難関校にチャレンジする流れになっています。それが難関校の受験者が増えた、因か知れませんが、オンラインで指導を受けていたという依頼がありました。

国際と共学化が目目される 中学校選択の幅が広がる

森上 今年話題だったのは、国際校の名称をつけ共学化した芝園中とサレジオ国際世田谷中でした。特に芝園中は芝浦工大附属中、開智日本橋中、かえり有明中と湾岸エリアの中学校と競合しました。また、国際という名がつかなくても、校成学園がグローバルコースを立ち上げるなど国際ブームは依然として衰えていません。

高野 国際やグローバルに対する熱い思いは、私も多く見られる家庭で見受けられました。谷地又 当会の受験生の傾向については、男子は海城中、芝中、本郷中といった進学が例年と

森上展安氏



(株)森上教育研究所 代表取締役
 中学受験・中等教育に関する新聞、雑誌等へのコメント多数。中学受験生の保護者対象に「わが子が伸びる親の「技」研究会」(oya-skill.com)を主宰。中学受験に関する動画配信、セミナー開催を行っている。

向は一致しています。森上 なるほど。その一方で、青山学院大学や系属である青山学院横浜英和、浦和ルーテル中に関しては、系属大学への内部進学率が7割以上可能ということから評価が高いです。同様に2026年から共学化し、明治大学の系属に日本学園中が大変な人気があります。谷地又 先生は先見性のある中学校選びが増えています。戦略的な思考は午後入試の増加にも表れています。うまく組み合わせ、メリハリをつけ、上位校にも思い切って挑戦するための作戦として定着しています。

対面授業とオンライン授業 賢く使い分けるのが効果的

森上 オンライン指導の依頼は増えていますが、対面でもオンラインでも、遠慮なく参加いただきました。保護者の方が真剣だとお子さんの意識も高まります。谷地又 対面でもオンラインでも、遠慮なく参加いただきました。保護者の方が真剣だとお子さんの意識も高まります。高野 実は保護者の方への指導も始まりました。ベテラン講師が指導技術をご父母に伝授するのが、中学受験の経験があり、4年生くらいまでなら何とか教えることができるが、さすがに5、6年生になると教えられるという声を聞きます。ご父母も頼もしいと思います。

教務の現場から①

●消去法ではなく、積極的にチャレンジ!
 大学入試を反映して、中学入試でも4科、2科、4科選択、1科、総合型などと入試の方法は様々です。また合格校を早めに確保したいとの受験生の心理も働いて、2月1日や2日の午後受験もすっきり定着しています。受験生の負担も考えて、4科ではなく2科あるいは算数1科入試の中学校が多いようです。

以前ある私立中学校の学校説明会に行ったとき、それまで行われていた国語1科入試を次の年から廃止するとの説明がありました。その理由はそもそも受験者が少なかったこと、中学校に入ってから数学などの他教科で劣る生徒が多かったことが挙げられました。大学受験生とは違って、まだまだ変化の可能性が高い未知数の小学6年生の選抜ですから入試の方法は1つとは限りません。それでも、理科・社会が得意だから2科受験にするなど消去法ではなく、受験生としては入試を通してその中学校が求めているものをしっかりと受けとめて果敢にチャレンジしてほしいと思います。



中央教務 高野 光治 (右) 教務 谷地又 俊明

学生は一切派遣していません

創立37年 中学受験の専門家庭教師を派遣いたします

これまでに7,000名を超える 受験生の合格を支えています

これまでの37年間も、そしてこれからも、中学受験を支える家庭教師を派遣します

「成績を伸ばしたい、志望校に合格させたい」。この家庭の要望に、当会は創立以来、中学受験の専門家庭教師のみを派遣してお応えしてまいりました。中学受験のサポートは、ぜひ当会にお任せ下さい。

●入会金 33,000円(税込) 一家庭無期限有効
 ●月額指導料 52,800円~79,200円(税込)

※指導料の範囲は講師の経験・実績によります。
 ※入金は体験授業でご納得いただいた後にご請求いたします。

○入会金は体験授業でご納得いただいた後にご請求いたします。
 ○指導料は月単位の完全な後払いです。入会後に必要な費用は月々の指導料と講師の交通費のみで、管理費等の不明瞭な費用はありません。
 ○長期前納、ローン、チケット、預かり金、教材の販売、退会の場合の解約金は一切ありません。
 ○指導開始後も、多くの中学校に受験生を送り込んできた当会の教務が受験校のご相談など、さまざまなサポートをさせていただきます。

中学受験専門の講師による1対1個人指導教室を併設

家庭と教室とで指導する講師の違いはありません。全員が中学受験専門の講師です。教室は広い空間を確保し、圧迫感のない対面形式の授業を実現しています。また、授業の前後には自習室としての利用も可能です。

当会は朝7:30より業務を行っております。